

総務大臣賞

島根県雲南市

雲南市

小規模多機能自治による市民が主役のまちづくり



地域自主組織取組発表会：地域自主組織がそれぞれの活動について発表・意見交換を行うことで、互いの活動への理解と学びを深めている。

事例の概要

雲南市では、自治会だけでは対応が困難な地域課題について、「地域自主組織」が解決に向けた取組を行っている。

「地域自主組織」とは、概ね小学校区などの単位での住民主体による新たな住民組織のことであり、地縁による様々な人、組織及び団体が連携し、幅広い世代と多様な団体に関わる民主的な組織として再編したもので、現在では、市内全域に30の組織が結成されている。

こうした地域の主体性を発揮していこうとする「小規模多機能自治」の仕組みにより、各地域において住民自らが地域の計画を立て、福祉や防犯・防災、買い物支援や交通弱者対策、観光や特産品開発など、個性と総合力を活かした特徴的な取組が展開されており、地域自主組織による課題解決型の住民自治が推進されている。



雲南市地域自主組織連絡協議会 委員

評価のポイント

雲南市は、島根県の東部に位置し、総面積の大半を林野が占め、神話や歴史が数多く残る古くから文化の拠点として栄えてきた地域である。しかしながら、近年では人口減少傾向が強まり、少子・高齢化の影響による集落機能の低下が大きな課題となっていた。

そこで、雲南市では、単独での地域運営が厳しくなった集落の機能を補完するため、平成17年度から住民主体の新たな自治組織である地域自主組織の設立に着手した。地域自主組織の発足に当たり、市では新たな地縁組織の必要性やその枠組みについて、地域住民に時間をかけて説明を行った。この結果、平成19年度までに市内全域で地域自主組織の全てが住民発意により発足（平成27年度現在30組織）し、各地域で既存の自治会等と地域自主組織の補完関係について模索しながら、各地域自主組織がそれぞれ特徴的な活動を展開するようになった。また、市から地域自主組織に一括型の交付金という形で財源等を移譲し、地域の主体性を引き出すことで、

地域と行政による協働のまちづくりを推進している。

地域自主組織は、概ね小学校区などの単位で構成され、公民館等から移行した「交流センター」を活動拠点に、地域資源を活用した地産地消や特産品化への取組や、単一の集落だけでは解決が困難な課題に取り組んでいる。具体的には、高齢者の見守り、自主防災、買い物支援、交通弱者対策、空き家対策、婚活応援、預かり保育、伝統文化継承やコミュニティビジネスなど、それぞれの地域が抱える課題の解決に向け、様々な取組が行われている。

枠組みを地域に根付かせるため、地域自主組織への財源の移譲や自主組織同士の話し合いの場の設置や、市民と行政の水平的な関係の構築など、設けた枠組みに魂が入るような仕組みづくりを行った。この結果、徐々に地域に枠組みが浸透し、現在では地域自主組織による課題解決型の住民自治が全国に先駆けて進められている。

本事例は、行政と地域住民が一緒になって住民自治の仕組みを育てられるまでになった点が高く評価された。



波多コミュニティ協議会の「はたマーケット」：交流センターの一室にマーケットを開設。



海潮地区振興会の「うしおっ子ランド」：公立幼稚園の放課後に、地域住民が預り保育を実施。



斐伊地域づくり協議会の「ごほんのじかん」：世代間交流と食文化の継承を実現。

DATA

島根県雲南市（うんなんし）

団体名 ● 雲南市

所在地 ● 〒699-1392 島根県雲南市木次町木次1013-1

連絡先 ● TEL:0854-40-1013 FAX:0854-40-1019
E-mail:fujimoto-mayo@city.unnan.shimane.jp
URL:http://www.city.unnan.shimane.jp/

【交通のご案内】

自動車 ● 雲南吉田1Cから三刀屋木次1C 約30分
三次東1C（広島県三次市）から三刀屋木次1C 約1時間
尾道北1C（広島県尾道市）から三刀屋木次1C 約1時間55分
（※いずれも中国横断自動車道 尾道松江線）

鉄道 ● 新幹線のぞみ（東京駅～岡山駅）→伯備線特急やくも（岡山駅～松江駅）→タクシー 約7時間
新幹線のぞみ（新大阪駅～岡山駅）→伯備線特急やくも（岡山駅～松江駅）→タクシー（松江駅～） 約4時間半

飛行機 ● 東京から出雲空港まで約1時間30分
大阪（伊丹）空港から出雲空港まで約50分
福岡空港から出雲空港まで約1時間5分
出雲空港から車で約20分

▶ 国勢調査人口（単位：人）

昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年
64,944	51,477	46,323	44,403	41,917

▶ 人口増減率（単位：%）

H22/S35	H22/S55	H22/H12	H22/H17
-35.5	-18.6	-9.5	-5.6

▶ 高齢者・若年者比率（H22年）（単位：%）

高齢者比率（65歳以上）	若年者比率（15歳以上30歳未満）
32.9	11.4

